

「百年の森林構想」と「ローカルベンチャー」 による地域資本の価値向上への取り組み



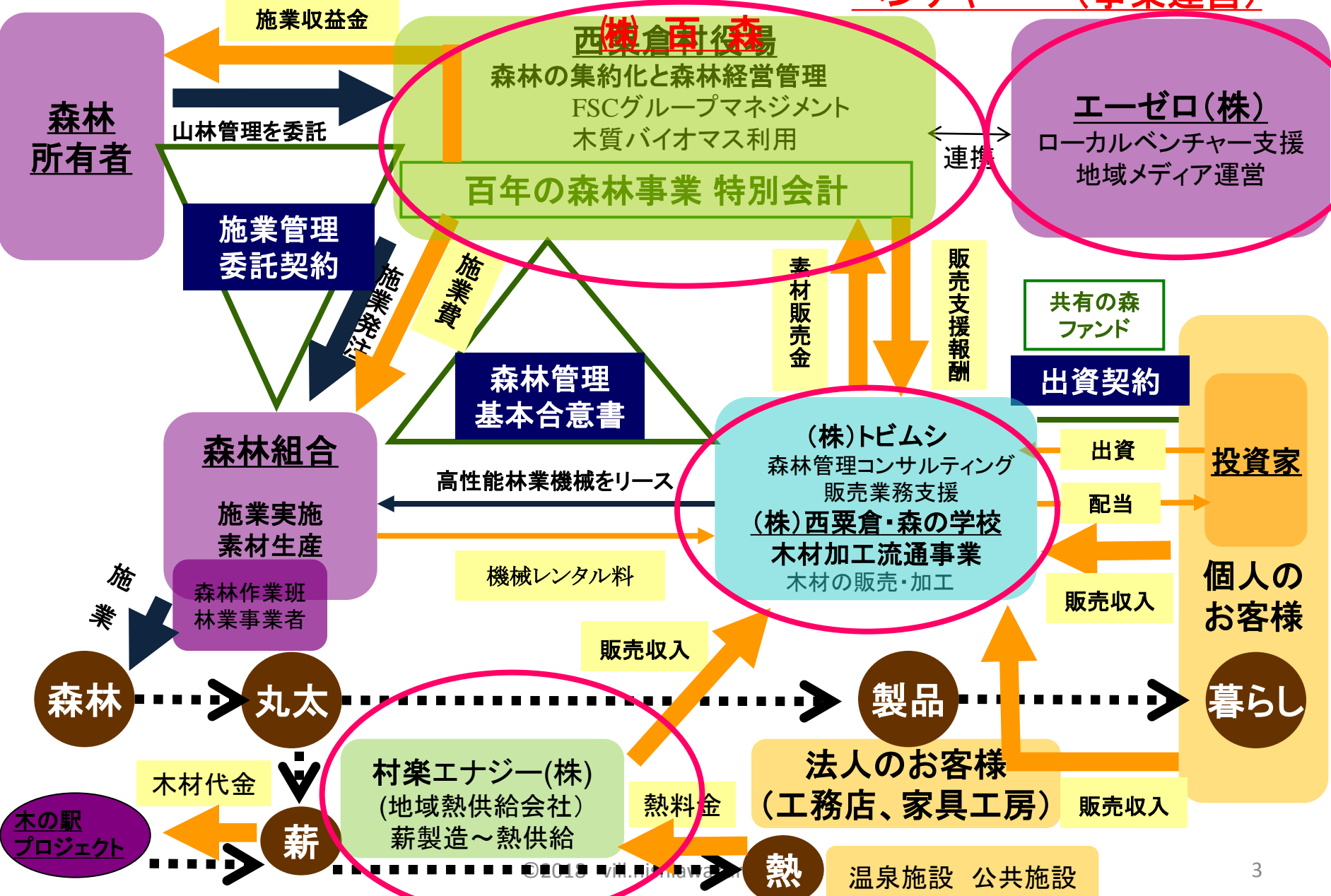
西粟倉村地方創生特任参事 上山隆浩

「百年の森林構想」の誕生

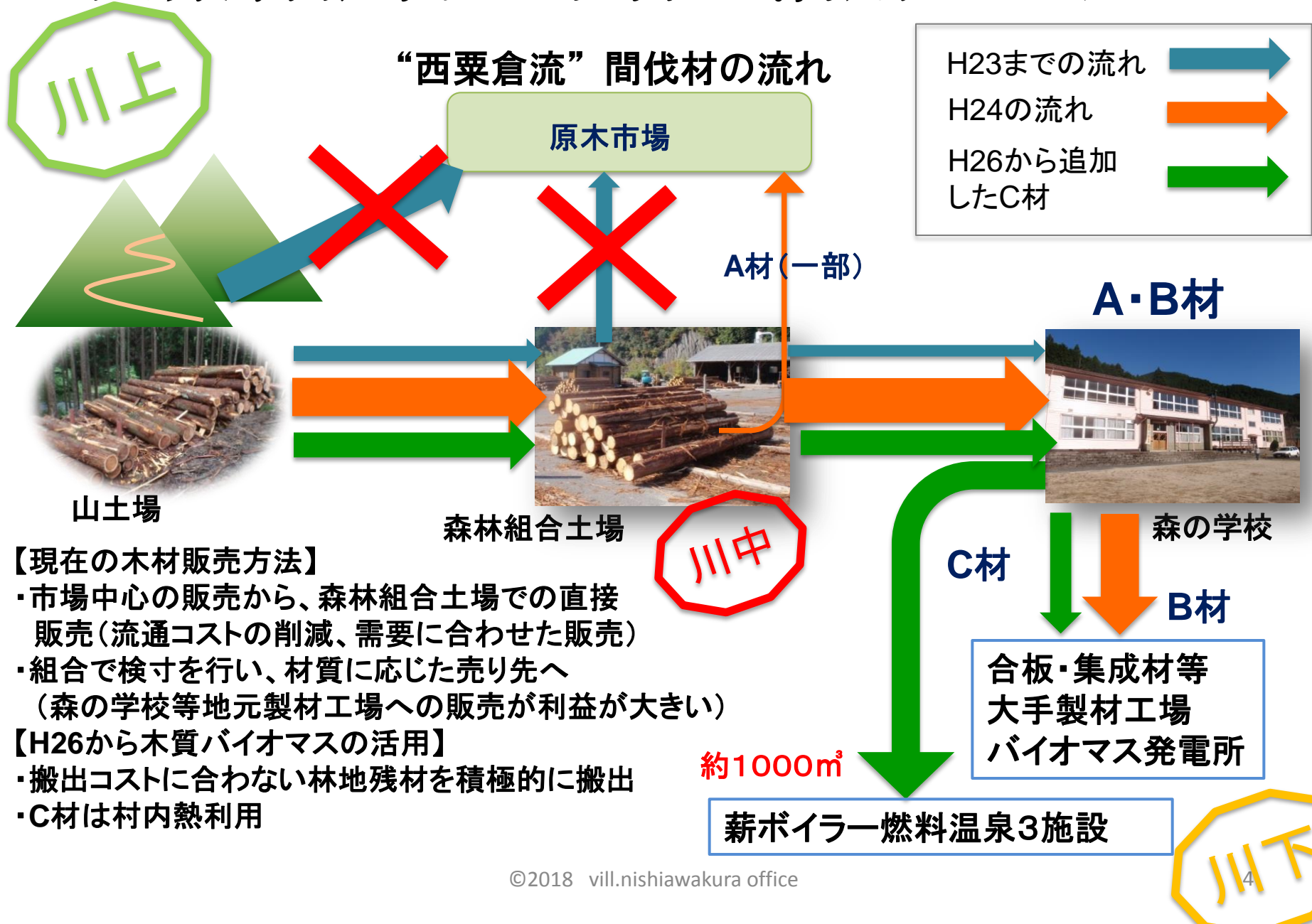


百年の森林事業スキーム

西粟倉村役場(全体管理)
ベンチャー (事業運営)



西粟倉独自の木材の活用システム



【現在の木材販売方法】

- ・市場中心の販売から、森林組合土場での直接販売（流通コストの削減、需要に合わせた販売）
- ・組合で検寸を行い、材質に応じた売り先へ（森の学校等地元製材工場への販売が利益が大きい）

【H26から木質バイオマスの活用】

- ・搬出コストに合わない林地残材を積極的に搬出
- ・C材は村内熱利用

約1000m³

薪ボイラー燃料温泉3施設

木材に価値を付けるベンチャー1号の誕生

(株) 木の里工房木薫

2006年7月 起業
西粟倉森林組合の合併に伴い
若い職員が独立。
木材加工事業をスタート

ベンチャーとの
連携



2009年

木材関連ベンチャーの起業が始まる



ベンチャーとの
連携



西栗倉森の学校

ニシアワー製造所(現在:西栗倉森の学校)



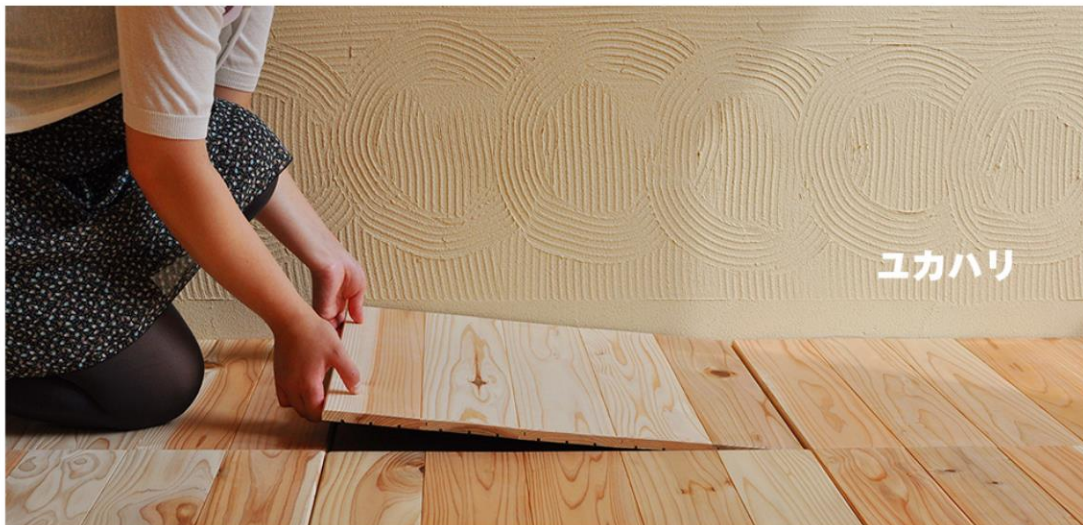
西栗倉村のこと

すべての製品

リノベーション

運営会社について

● 送料・配送方法・お支払い方法 ■ カートの中を見る ■ お問い合わせ



木工房ようび

ベンチャーとの
連携



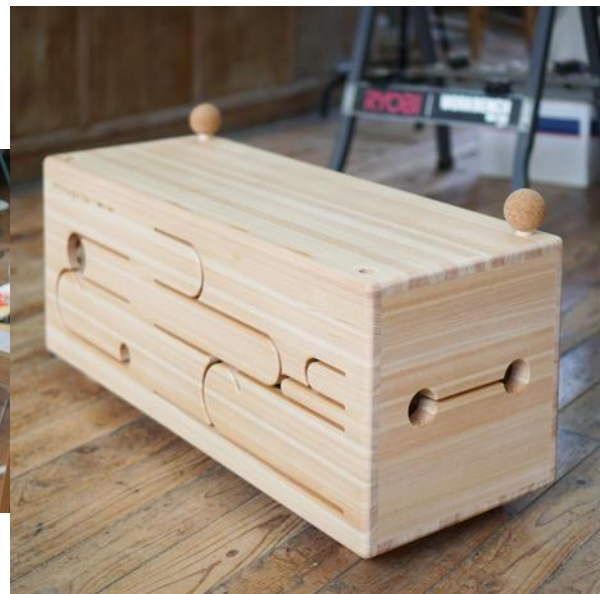
「FURERU」

ベンチャーとの
連携

ソメヤスズキ



mori no oto

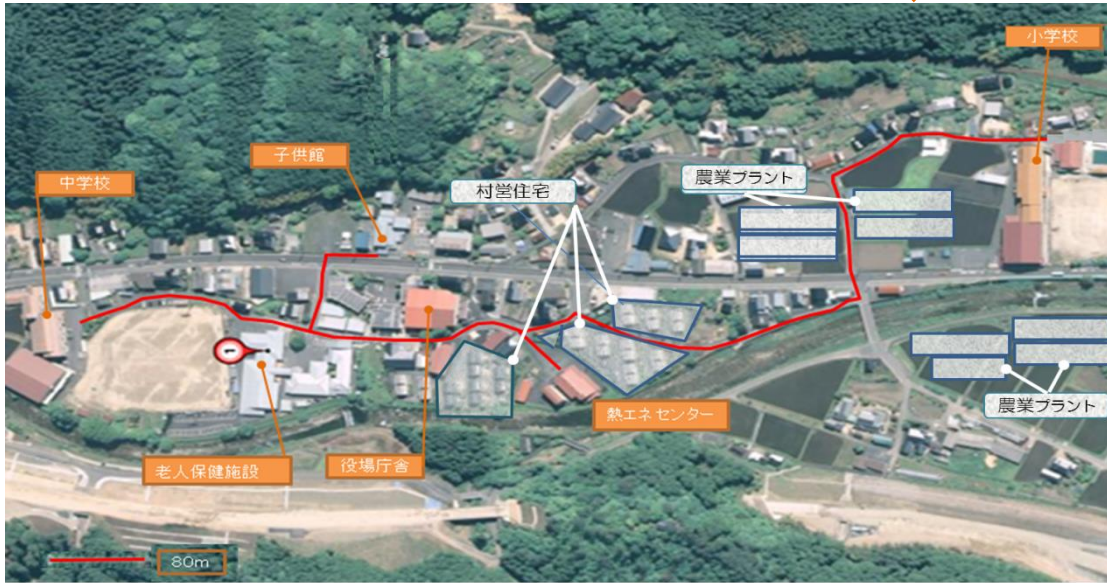
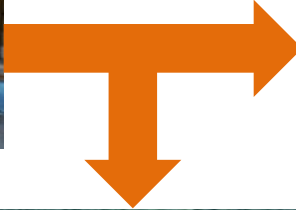


(株)SONRAKUによる木質熱エネルギー事業

ベンチャーとの連携



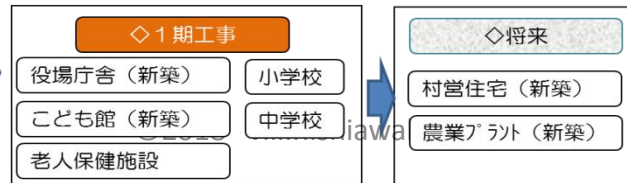
熱エネルギー供給



温泉施設3か所

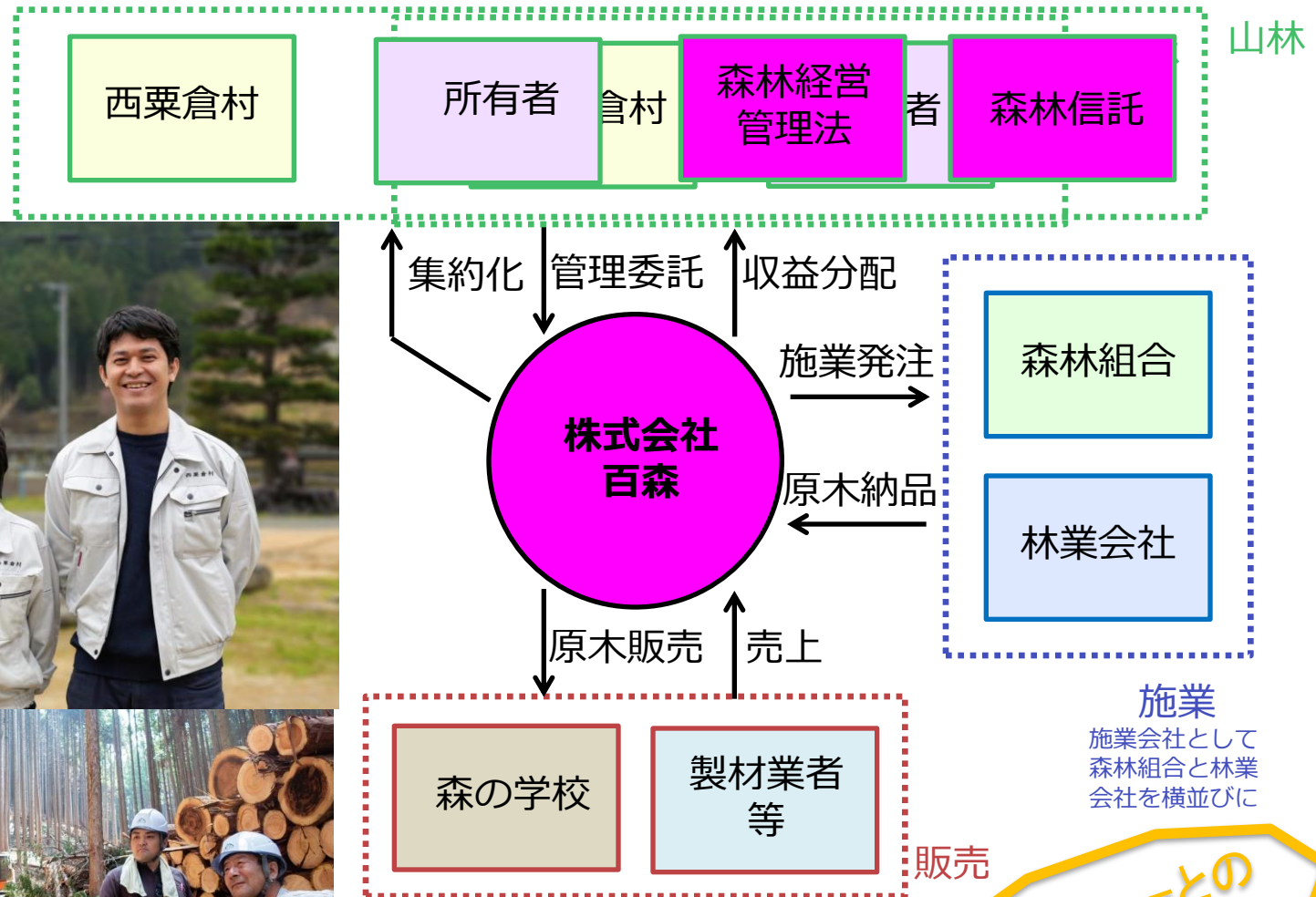
地域熱供給システム運用

※新築予定の村役場庁舎を含む村有施設5カ所に、木質バイオマスボイラーで作った熱を供給し、暖房・給湯で使用する。
 ※長期計画での将来像では村営住宅・農業プラントへの熱供給も考えられる。



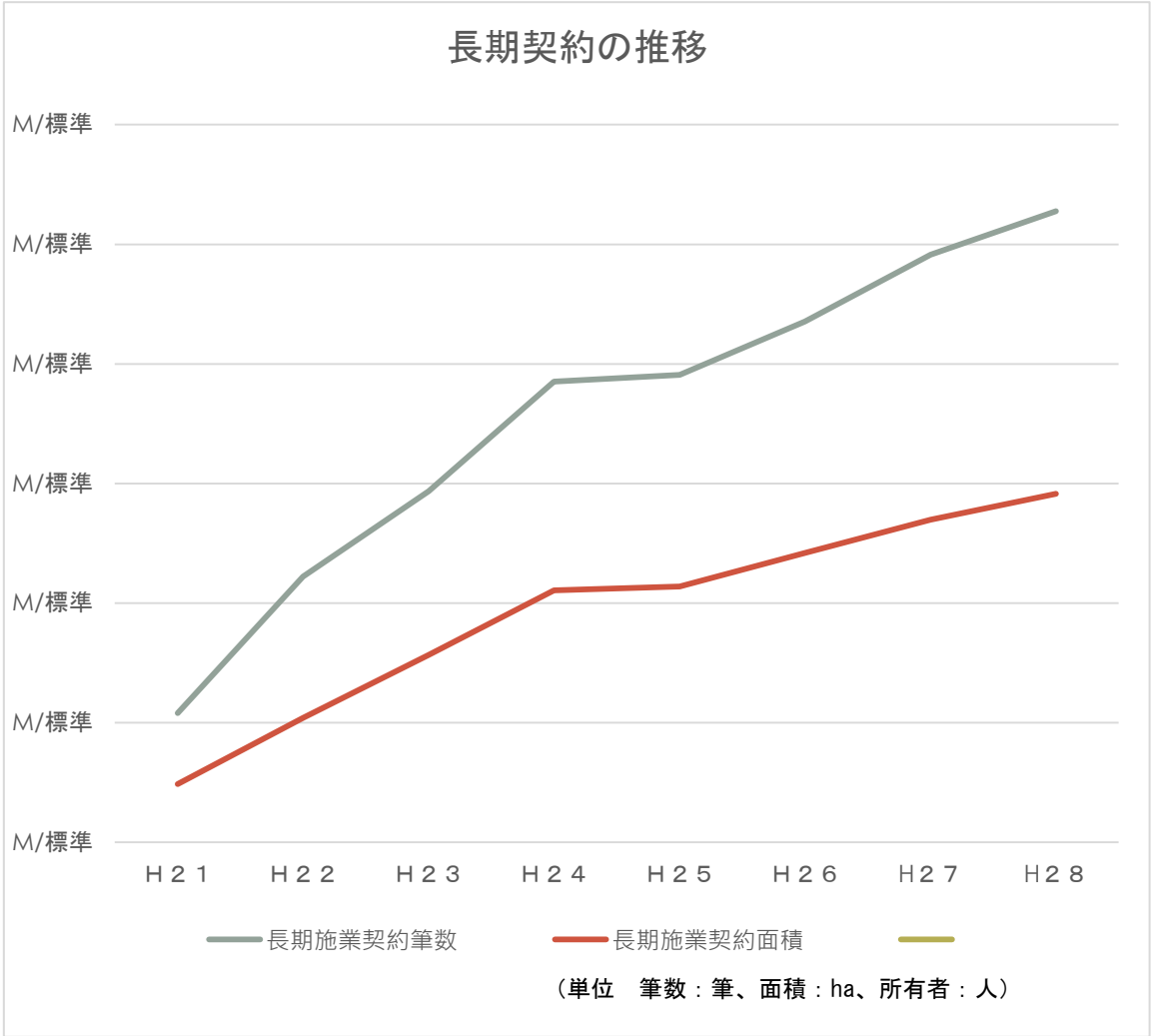
新しい地域森林経営会社 (株)百森

「百年の森林事業」の持続的な経営管理を行う専門組織



ベンチャーとの連携

- 事業開始累計
2,741筆
1,488ha (724人)
(平成30年3月末現在)
- 間伐実施面積
1,429ha
- 作業路整備延長
93,868m



木材関連事業

木材搬出量 $500\text{m}^3 \rightarrow 5,000\text{m}^3$

売上額約1億円→約8億

木材関連ベンチャー 8事業体 89人

起業を支援する西栗倉の取組

ローカルベンチャースクール & ローカルライフラボ



人生の研究所「ローカルライフラボ」。地域で生きる幸せを探求し、ありたい暮らしや可能性に出会う研究所。



地域を拠点に起業や新規事業の立ち上げを支援する「ローカルベンチャースクール」。あなたの想いから、挑戦しよう。

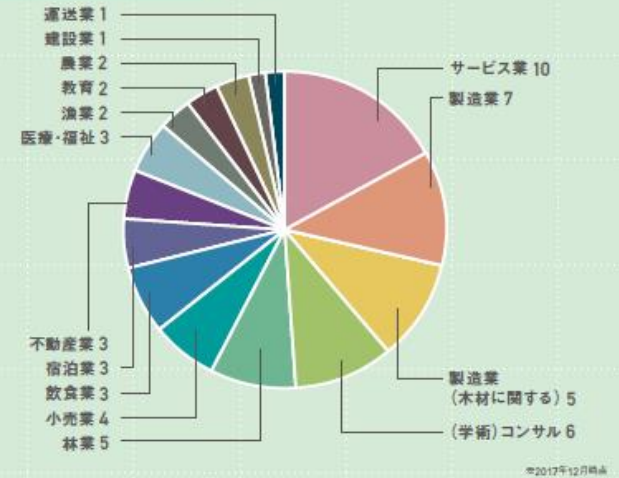
村の資本を豊かにするベンチャーの起業

31事業体・60の事業

売上規模



事業内容 (27事業体・56事業)



出身地(代表者)



男女比



数字で見る

西栗倉村のローカルベンチャー
アンケート未回答の4社を除く

「男女比」「出身地(代表者)」は、株式会社百森が共同代表のため、合計で28人/27社となっています。

ローカルベンチャーとの協働による地域資本向上

★SDGsの構造整理を下敷きにし、西粟倉村のこれまでとこれからを整理。



◆ 小さな行政の実現

これまで様々な事業を行政で行ってきた。→財政圧迫・行政の肥大
民間に任せられるところを拡大。(複数事業を一体で運営)

* 民間は育たないという固定概念からの脱却

◆ 多様な地域の生態系の構築

少子高齢化、行政、零細企業が数件＝過疎の山村
多様な事業が村内にあり役割を担う＝目指す地域社会

◆ 関係人口の拡大

ローカルベンチャー事業の推進により「西粟倉村ファン」を拡大
関係人口の拡大により、地域の経済活動を後押し。

注目を集めることにより、移住者となる確率をUP

Brighten our Forests,
Brighten our Life,
Brighten our Future!!



生きるを 木 しむ

西栗倉村

ご静聴ありがとうございました。